

「いかのおすし」を聞いたことがありますか。子どもが危険から身を守るためのキーワードです。子どもたちにはかなり浸透していますが、大人たちの間では知らない人が大半でしょう。

「い・か」知

子どもの安全を守ろう

知らない人にはついでにいかない、「の」知らない人の車にはのらない、「お」危険な目にあいそうになったらおおごえを出す、「す」こわい目にあつたらすぐ逃げる、「し」何かあつたらすぐしらせる。

子どもたちは、自分の身は自分で守るために「いかのおすし」のキーワードに従って行動することと意思します。しかし、子どもが危険な目に遭っている時に、「いかのおすし」

のシグナルを発信しても大人たちがそれに気づいて助けてあげられなければ、子どもの安全は守れません。

大人の皆様、「いかのおすし」を知つて子どもを守りましょう。

防犯一口メモ